

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
 会長 荒船 丈一 様

施設名 かわぐちナーシングホーム
 氏名 飯塚 和広

研 修 会 報 告 書

研修会名	チームアプローチ研修会			
日 時	2024年9月17日(火)10:00~16:00			
会 場	県民活動センター210セミナー室			
講 師	石川 圭子 (株)こたか代表取締役 介護支援専門員・看取り士			
参加人数・定員	参加人数	22 名	募集定員 24 名	
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	・リーダー 梅田 昭(しょうわ) ・サブリーダー 金井 翼(ケアセンター八潮) ・江村 泰亮(かわぐちナーシングホーム) ・飯塚 和広(かわぐちナーシングホーム) ・佐藤 美奈津(大宮ナーシングピア) ・田口 桃香(しょうわ) ・森 恵子(あねとす)			
研修会のテーマ	「看取りについての考え方と家族へのケア、私達ができる事」			
研修会の評価	アンケート回収枚数	22 枚	3. グループワーク #### 0	
	1. 研修内容と目的の一致	3.3 5	4. 研修会の進め方 4.1 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	~総合評価点~ 11 15
		②	/ 5	
③		/ 5		
④		/ 5		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	今回の研修では「看取りについての考え方と家族へのケア、私達ができる事」をテーマとし、事例、講義、グループワークで頂きました。研修の流れとしては、沈黙の時間から始まり、コミュニケーション技術「ライオンズクエスト」より、「お誕生日」「あなたはわたしはどんな人？」を参加者に実施して頂き、その後にACPIにおける「尊厳について」、逝く人は自分の死をユースできる、臨終後24時間、聴こえ、嗅げ、触覚がある、循環(命のバトンをつなぐ)の内容について講義とその合間にワークを実施して頂きました。グループワークは午前中に事例をもとにグループ内で検討し発表、午後はカフェ看取り、各個人グループ内で3分間看取りの経験を発表、その後各グループの代表が発表しました。			
	研修の始めにコミュニケーションがとりやすい環境を作ることができたので、参加者同士の発言もスムーズに行うことができて進んでいたと思います。研修内容については、看取りについての考え方はほとんどの方に共感を得ていましたが、他職での対応、他施設での流れや取組みなど知らなかったとの意見も多数あったのでこれらの意見を参考に今後の研修会にしていければ良いと思います。講義に関しては理解できた方が多く、アンケート用紙には様々な意見が記入してあり看取りで色々な形でご理解して頂けたかと思います。研修会の進め方については、事例や講義の間にグループワークや発表の間配分も丁度良いとの意見あり、ほとんどの方が高評価でした。			
	反省点としては、事例や経験を踏まえたお話が大変良かったので資料として配布して欲しかったとの意見があったので資料の有無についてもっと深く検討しておく必要があったと思います。			
	今回の研修では勤続年数が5年以上の方が多く、介護職・看護職がほとんどでした。役職についている方も半数を占めました。看取りに対する正確な答えを見つけることは難しい様子でした。他職種連携や他施設での取組みについてもたいとの意見がありましたので今後の研修会の参考にしていききたいと思います。			
	*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。			